

すいそきゅうぞうごうきん
水素吸蔵合金

■ 用語解説 ■

水素ガスを多量に吸い込み、または必要に応じて取り出すこともできる合金で水素貯蔵合金ともいう。ランタン・ニッケルや鉄・チタン合金材料が知られている。水素の貯蔵や輸送時に使用するガスボンベに比べ、容積が3分の1から5分の1ですみ、爆発の危険がない。